［ 原著論文 ］

小規模多機能型居宅介護に勤務する介護福祉士が支援する高齢者の「生活の構成要素」に関する研究

渡邊祐紀[*1]，大島千帆[*2]，田口潤[*3]，天野由以[*4]，
安瓊伊[*5]，鄭春姫[*6]，岸野靖子[*7]
1)東海大学，2)早稲田大学，3)明治薬科大学，4)目白大学，
5)静岡県立大学短期大学部，6)東京福祉大学，7)日本社会事業大学

概　要

介護福祉士の専門性を定義する研究の一環として，小規模多機能型居宅介護(以下，小規模多機能とする)に勤務する介護福祉士が認識する地域居住の「要介護状態の高齢者の生活の構成要素」(以下，構成要素)とその構造を明らかにするため，[1]A都道府県内 13 の小規模多機能に勤務する介護福祉士 14 名を対象に構成要素を尋ねる面接調査を行い，[2]全国 2097 の小規模多機能に勤務する介護福祉士に[1]で得られた構成要素の妥当性と因子構造を検討する量的調査を実施し，934 件の回答を得た。面接調査では，210 の構成要素が得られ，19 カテゴリーとなった。【好きな時・場所・人と好きな事をして，生活のモチベーションを高め，自由に過ごす】【安全な食べ物を食べ，清潔な衣服を着て，受診し，健康を維持】【他者と関われるよう，家屋・室内・庭を清掃し，季節に合った衣服で身だしなみを整える】等，要素は自己決定を基盤に，環境や道具の扱いに関するもの等多岐に渡った。介護福祉士が認識する「高齢者の生活」の幅が高齢者の生活を縮小させない配慮が必要である。量的調査からは，多くの項目が構成要素と認識され，介護福祉士は高齢者の意思を尊重し，社会とのつながりを含め，生活全体を見渡し支援していた。生活の中の不満足や詐欺のリスク等の扱いは検討が必要である。構成要素は，『自分にとっての楽しみを，その日の気分で選び楽しむ』『家族や社会に対して，自分の役割を果たして貢献する』『万が一に備えながらも，人や社会の影響によって，予測通りにいかないことに折り合いをつける』等の 8 因子構造であり，介護福祉士は高齢者を主体的な生活者と認識していた。最期まで地域居住を望む高齢者のため，介護福祉士には介護のみに着目せず生活全体を見渡し，医療連携も含む高度な知識と技術が求められる。

*1 東海大学
*2 早稲田大学
*3 明治薬科大学
*4 目白大学
*5 静岡県立大学短期大学部
*6 東京福祉大学
*7 日本社会事業大学

1．はじめに

介護福祉士の活躍の場は，特別養護老人ホーム等の入居施設に限らず，地域居住の高齢者の自宅等幅広い。個別性の高い利用者の生活を支援するために，介護福祉士は多様な技術を用いているが，それらの全容はいまだ明らかにされておらず，広く共有される専門性の定義も存在しない。

筆者らは，介護福祉士の専門性を定義する方法を検討した結果，支援の「目的」である高齢者の「生活の構成要素」と，支援の「方法」である介護福祉士が生活支援に用いる「技術」を組み合わせ，専門性を定義することとした。これまでに，特別養護老人ホームの高齢者の「生活」を支えるため，介護福祉士が活用する「技術」を調査した結果，技術は介護福祉士の養成課程における科目「生活支援技術」で教授されるような三大介護に終始せず，高齢者同士の関係構築，勤務する組織内で自分の意見を伝える，利用者のために実践したい企画の実施許可を得る，利用者が利用できる社会資源の発見・活用等多様なものが挙げられた(渡邊 2013，渡邊 2017)。

地域包括ケアシステムが推進される中，介護福祉士は地域においても活躍が求められ，小規模多機能型居宅介護(以下，小規模多機能とする)や訪問介護等の地域における支援を担う事業所に勤務する介護福祉士の技術はより多様性が高いと推定されるが，技術や能力に関する文献は非常に少ない状態であった。そのため，地域居住の高齢者を支援する介護福祉士の専門性や技術の全容を示すことは喫緊の課題と言える。地域にて支援を提供する介護福祉士の実践状況を比較した際に，訪問介護ではサービス計画書にそった支援のみの提供に限られること，通所介護や短期入所ではサービス提供が事業所の敷地内に限られ，地域資源の発掘や活用等に制限がある。一方，小規模多機能では職員は利用者の生活全体を把握し，求められる支援を検討し，利用者の自宅，事業所，両者の近隣地域等，地域社会のあらゆる場面で，多様な支援を提供することが可能であり，事業所の数は未だ多くはないものの，地域包括ケアシステムにおいて大きな役割が期待されている。そのため，本研究では介護福祉士の能力をより発揮しやすい事業形態と推察される小規模多機能に勤務する介護福祉士に焦点を当てることとした。本研究は，小規模多機能に勤務する介護福祉士が，地域居住の高齢者の「生活」をいかにとらえ，どのような「技術」で支えているのかを明らかにすることで，地域居住の高齢者を支える介護福祉士の専門性の定義を目指す研究の一環である。

本研究は，介護福祉士が駆使する技術を明らかにするために，支援の対象である「要介護状態の高齢者の生活の構成要素」(以下，構成要素とする)について，小規模多機能に勤務する介護福祉士を対象に，[1]構成要素を明らかにするための面接調査，および[2]構成要素の妥当性を検討するための質問紙調査を通し，地域居住の「構成要素」とその構造を明らかにすることを目的とする。

2．目的

高齢者の地域居住に際し，大きな役割を担う小規模多機能に勤務する介護福祉士が，地域居住の高齢者の「生活」をいかにとらえ，どのような「技術」で支えているのかを明らかにするため，本研究は地域居住の高齢者の生活の構成要素について，介護福祉士を対象に[1]面接調査を通して質的に構成要素を明らかにし，[2]量的調査を実施し，[1]にて得られた構成要素の妥当性と構造を検討することを目的とする。

3．対象と方法

3.1　[1]構成要素を明らかにするための面接調査

3.1.1　対象

A都道府県の小規模多機能型居宅の事業者団体の代表らから推薦され，本研究への理解と承諾を得られた小規模多機能施設(計 13 施設)に勤務する介護福祉士 14 名(男 10 名，女性 4 名)を対象とした。全員が 10 年以上の介護経験を有し，1 名を除いて事業所の管理者や主任などの管理職であった。

3.1.2　方法

2019 年 2 月から 3 月に, 計 3 回のグループインタビューを実施した。1 回のグループインタビューはおよそ 2 時間であった。筆者らが特養に勤める介護福祉士を対象に実施した調査より明らかとなった「介護福祉士が認識する生活の構成要素」を参照しながら,「利用者と関わっている際に，生活のこの部分はどのように利用者が行っているか，きちんとできているか詳しく知りたい点」等を尋ねた。

3.1.3　分析方法

インタビューの結果を逐語化し，構成要素に関連する内容を抽出し，発言内容の類似性によって KJ 法に基づき分類した。分類過程と結果はチームで全て共有しながら検討を行った。

3.1.4　倫理的配慮

東海大学研究倫理委員会(審査番号:湘-152)の承認を受け実施した。面接実施にあたり，参加者には研究の趣旨とプライバシーの保護，参加撤回の自由等の説明を行い，同意書をもって了承を得た。

3.2　[2]構成要素の妥当性を検討するための量的調査

3.2.1　対象

2019 年 3 月の時点で，主に日本国内の福祉・保健・医療に関する制度・施策および国内のほぼすべての事業所情報等を検索できる福祉保健医療情報サービス(wam-

net)に掲載されていた全国の小規模多機能のうち，介護福祉士の人数等の基準(職員のうち，介護福祉士の割合が 40%を超えている場合に取得できるサービス提供体制強化加算を取得している事業所であること)を満たす全事業所 2097 カ所を対象とし，1 つの事業所あたり施設長の推薦により選ばれた 2 名の介護福祉士に調査を依頼した。

3.2.2　方法

[1]面接調査から得られた「地域居住の高齢者の生活の構成要素」を質的に分析した結果，72 のコードが抽出された。2019 年 9 月から 10 月に，面接調査の対象者に分析結果の内容確認を依頼し，要素名の理解しやすさ等についてコメントを得た。量的調査の回答時の対象者の負担や理解しやすさを配慮した「構成要素の妥当性を尋ねる自記式質問紙」を作成するため，コメントに基づきコードの内容や表現を見直し，意図のわかりづらいもの，複数の要素を含んでいるもの等を整理し，62 項目(コード)に整えた。2020 年 2 月に 2097 事業所に調査票を送付した。質問項目は，①基本属性(年齢，性別，勤続年数，介護職としての勤続年数等)，②62 項目の「地域居住の高齢者の生活の構成要素」が，小規模多機能を利用する高齢者の「生活の構成要素」として含まれるか否か(4 件法)である。

3.2.3　分析方法

有効回答数は 934 件であった。そのうち，②「生活の構成要素」として含まれるか否かの各項目に 1 項目でも「わからない」と回答したデータを除外した 354 件を分析対象とした。各項目の単純集計を行い，生活の構成要素の構成を確認するために，因子負荷量 0.4 未満のものを除外し，プロマックス回転を伴う最尤法にて因子分析を行った。各因子は，Cronbach の α 係数により，信頼性を確認した。

3.2.4　倫理的妥当性

東海大学研究倫理委員会(審査番号:伊-002)の承認を受け実施した。調査票に同封した説明文書に個人情報保護の方法と調査への協力は任意であること等を記載し，調査票の返送を以て調査協力に同意したとみなした。

4．結果

4.1　[1]構成要素を明らかにするための面接調査

面接結果を質的に分析した結果，210 の[コード]が抽出され，72 の〈サブカテゴリー〉と 19 の【カテゴリー】が得られた。結果を表 1 に示す(コード名は[]，サブカテゴリー名は〈〉，カテゴリー名は【】で示す。紙面の都合上，表中にはカテゴリー名とサブカテゴリー名のみ掲載する)。

【好きな時に，好きな場所で，好きな人と好きなことをして，生活のモチベーションを高め，自由に過ごす】には，〈時間帯や他人の都合など気兼ねせず，自由に時間

を使う〉〈好みの道具を使い，過ごす場所を選び，好きなことをして過ごす〉〈その日の気分でおやつや晩酌のおつまみ，外食する店を選ぶ〉等の 6 サブカテゴリーが含まれた。【利用・参加したいものに関する情報を得ながら，文化的な要素や旅行を楽しむ】は，〈利用したいもの・参加したいものを見つけるため，情報を得る〉〈映画・観劇・コンサート・アイドルの応援・ゲームなど，文化的な要素を楽しむ〉等の 6 サブカテゴリーで構成された。

その他，18 のカテゴリーは，【安全な食べ物を食べ，清潔な衣服を着て，受診もしながら，健康を維持する】【他者と関われるよう，家屋・室内・庭を片付け清掃し，季節に合った衣服を着て，身だしなみを整える】【体力の変化を把握しながら，予定を立て，移動手段を考え，休憩しつつ，行動や習慣を続ける】【必要性を感じ，気に入って納得したものを，自分でまたは他者へ依頼したり，通信販売などで購入し，不要な物は欲しい人に譲る】【通信機器や家電などを購入し，道具やサービスに新しい価値や使い方を見出しながら利用する】【能力が変化し大変なことが増えても，工夫を加え，道具を活用し，環境を整え，取り組み方法を変更しながら継続して行う】【今後や自分の死に備え，資産・土地建物を管理・運用し，子孫に相続する】【ごみ収集やサービスごとに決められた日時・曜日，自分の予定に合わせて準備し，行動をとる】【困った時に，助けてくれる人やサービスを頼り，福祉や医療を利用し，機能を回復・向上させ，生活を成り立たせる】【特技を披露・教授したり，自分の人生への希望や生まれた場所を大切にする】【社会情勢や健康に関する情報や家族の有無や介護負担の状況を理解し，介護サービスの利用も含め，自分の行動に反映させる】【他者からの提案・お勧め・説得に賛成や反対の意見を言い，相手の譲歩を引きだす交渉をする】【家族と連絡を取り合い協力して，病気の家族の心身のケアを行い，医療や年金等の手続きを代行し，家族を看取る】【客・子供が喜ぶよう，動植物が育つよう，世話をする】【信頼できる人からいただきものをしたり，お世話になっている人に恩返し，ボランティアを行う】【地域の人や支援者と関係性を築き，参加する場に適した社交的な態度で自治会やサークルで役割を果たし，うまくいかない時も含めて近所づきあいする】【復職も含め，通勤・勤務し，報酬を得る】であった。

表 1.「地域居住の高齢者の生活の構成要素」のカテゴリーとサブカテゴリー

カテゴリー	サブカテゴリー
好きな時に、好きな場所で、好きな人と、好きなことをして、生活のモチベーションを高め、自由に過ごす	時間帯や他人の都合など気兼ねせず、自由に時間を使う
	好みの道具を使い、過ごす場所を選び、好きなことをして過ごす
	タバコやお酒を楽しみ、生活のモチベーションを維持する
	転居する
	恋愛や結婚する
	その日の気分でおやつや晩酌のおつまみ、外食する店を選ぶ
利用・参加したいものに関する情報を得ながら、文化的な要素や旅行を楽しむ	利用したいもの・参加したいものを見つけるため、情報を得る
	母国語以外の言語を使う
	映画・観劇・コンサート・アイドルの応援・ゲームなど、文化的な要素を楽しむ
	キャンペーンに応募する
	旅行する
	マージャンや競馬などのギャンブルを楽しむ
安全な食べ物を食べ、清潔な衣服を着て、受診もしながら、健康を維持する	健康を管理し、健康状態を医療従事者に伝える
	家族や他者、または一人で食事を摂る
	腐ったものや不要なものを判断し、廃棄する
	衣服が清潔が判断し、洗濯し、清潔な服を着る
	入浴する
他者と関われるよう、家屋・室内・庭を片付け清掃し、季節に合った衣服を着て、身だしなみを整える。	他者と関わるよう、家屋や庭を手入れし、室内の清掃や片づけを行い、適温で清潔な状態を保つ
	季節や天候、場に適した衣服を選び、着る
	理髪店や美容院に行き、お化粧や髭剃りで身だしなみを整える
体力の変化を把握しながら、予定を立て、移動手段を考え、休憩しつつ、行動や習慣を続ける。	体力や待ち時間を考慮し、計画的・効率的に時間を使う
	能力が変化したため、これまでの行動・習慣を止める
	体力に余力があるうちに、やりたいことを済ませる
	目的地までの距離に合わせて、徒歩・自転車・タクシー・公共交通機関等を組み合わせて移動する
必要性を感じ、気に入って納得したものを、自分でまたは他者へ依頼したり通信販売などで購入し、不要な物は欲しい人に譲る	お遣いや修理を他者に依頼する
	必要性を感じ、気に入ったものに納得して費用を払う
	今すぐ使わないものでもストックしておき、安心感を得る
	通信販売や出前を利用する
	不用品を欲しい人に譲る
通信機器や家電などを購入し、道具やサービスに新しい価値や使い方を見出しながら利用する	道具やサービスのさまざまな利用方法や新たな価値を見つける
	通信機器や家電を購入し、利用する
	携帯電話を使って連絡を取る
能力が変化し大変なことが増えても、工夫を加え、道具を活用し、環境を整え、取り組み方法を変更しながら継続して行う。	能力が変化し大変なことが増えても、すぐに助けを求めず、工夫して取り組む
	能力が変化し大変なことが増えた自分を助ける道具を利用し、環境を整える
	能力が変化し大変なことが増えたとしても、スポーツのルールを変更し継続して楽しむ
	自分の整理整頓する力では片付かない環境の中でも我慢して生活する
今後の生活や自分の死に備え、資産・土地建物を管理・運用し、子孫に相続する	今後の生活に備え、資産・土地建物を管理・運用し、子孫に相続する
	家の戸締りをして安心してすごす
	お買い得な購入方法・タイミングを選ぶ
	お墓の購入や自分の死に備えた準備を行う
	資産を他者に使い込まれる
ごみ収集やサービスごとに決められた日時・曜日、自分の予定に合わせて準備し、行動をとる	曜日ごとの予定を決め、準備をする
	今の時刻や予定を意識する
困った時に、助けてくれる人やサービスを頼り、福祉や医療を利用し、機能を回復・向上させ、生活を成り立たせる	困ったときに人やサービスに頼る
	サービスや医療・福祉を申請・契約・利用し、費用を払い、評価する
	福祉サービスを使うことで生活が成り立っていると実感し、機能を回復させる
特技を披露・教授したり、自分の人生への希望や生まれた場所を大切にする。	特技を披露・教授したり、自分の人生のエピソードを披露する
	生まれた場所や育った場所に愛着を持つ
	終末期の希望を他者に伝える

表 1.「地域居住の高齢者の生活の構成要素」のカテゴリーとサブカテゴリー(続き)

続き)　カテゴリー	サブカテゴリー
社会情勢や健康に関する情報や家族の有無や介護負担の状況を理解し、介護サービスの利用も含め、自分の行動に反映させる	社会情勢や健康に関する情報を得て、自分の行動に反映する
	家族の有無や介護負担の状況を理解し、サービスの利用予定や施設入居を受け入れる
他者からの提案・お勧め・説得に賛成や反対の意見を言い、相手の譲歩を引きだす交渉をする	他者からの提案・勧め・説得に賛成・反対意見を言う
	商品購入の際に、店員のお勧めの参照や値引き交渉等を行う
	許してくれそうな言い訳を言うなど、相手の譲歩を引きだす
家族と連絡を取り合い協力して、病気の家族の心身のケアを行い、医療や年金などの手続きを代行し、家族を看取る	家族を看取り、葬式を出すなど、冠婚葬祭に参加する
	家族や自分の医療・年金・介護・各種手帳などの手続きを代行する
	家族の食事を用意し、全員が食べているか確認する
	仏壇に水やご飯をあげ、先祖を供養する
	入院中の家族の面会に行く
	家族と協力し助け合う
	携帯電話やスカイプで家族と連絡をとる
客・子供が喜ぶよう、動植物が育つよう、世話をする	動物・植物の世話をする
	お客さんや子供の世話をする
信頼できる人からいただきものをしたり、お世話になっている人に恩返し、ボランティアを行う	お世話になっている人にご恩返ししたり、ボランティアする
	信頼できる人から渡されたものを受け取る
地域の人や支援者と関係性を築き、参加する場に適した社交的な態度で、自治会やサークルで役割を果たし、うまくいかない時も含めて近所づきあいする	地域の自治会やサークルに参加し、役割を果たす
	参加する場に適した社交的な態度をとる
	うまくいかない時もあるが、近隣の人と近所づきあいやおすそ分けをする
	引き受けるには負担が大きいことを断り、慣れない場所から離れる
	支援者や近隣の人など信頼してもよい人を見極め、関係性を築く
復職も含め、通勤・勤務し、報酬を得る	通勤・勤務・復職する
	小物を作成し、販売する

4.2　[2]構成要素の妥当性を検討するための量的調査

4.2.1　単純集計

4.2.1.1　対象者の基本属性

有効回答数は 934 件(有効回答率 22.2%)であった。単純集計の結果を表 2 に示した。回答者の性別は，男性 286 名(30.6%)，女性 638 名(68.3%)，平均年齢は，45.3±10.4 歳，介護福祉職としての勤続年数は平均 13.1±6.0 年であった。また，今までに勤務経験がある事業所・施設は，要介護高齢者入居施設 412 名(44.1%)，地域密着型サービス 248 名(26.6%)，福祉以外の仕事 207 名(22.2%)であった。勤務先の建物のタイプは，他施設と併設 451 事業所(48.3%)，単独(新築)331 事業所 (35.4%)，単独(民家活用)95 事業所(10.2%)であった。さらに，事業所が開設してからの年数は，5 年～10 年未満 402 事業所(40.3%)，10 年以上 366 事業所(39.2%)，5 年未満 153 事業所(16.4%)であった。

表 2. 構成要素の妥当性を検討するための量的調査の対象者の属性

		人数	%
年齢(平均±SD)		45.3±10.4	
性別	男性	286	30.6
	女性	638	68.3
	回答しない	2	0.2
	無回答	8	0.9
介護職としての勤続年数(平均±SD)		13.1±6.0	
介護福祉士取得後の経過年数(平均±SD)		10.2±6.4	
介護福祉士を取得した方法			
	福祉科高校を卒業後国家試験受験	26	2.8
	2年・3年制養成校を卒業	161	17.2
	4年制養成校を卒業	12	1.3
	通信制養成校を卒業	3	0.3
	実務経験の後に国家試験受験	702	75.2
	保育資格取得後に専攻科を卒業	13	1.4
	無回答	17	1.8
介護福祉士以外に取得している資格(複数回答)			
	社会福祉主事	116	12.4
	介護支援専門員	237	25.4
	訪問介護員	157	16.8
	社会福祉士	29	3.1
	精神保健福祉士	2	0.2
	看護師	4	0.4
	その他	124	13.3
今までに勤務した経験がある事業所・施設(複数回答)			
	現在の勤務先以外に勤務経験はない	168	18.0
	要介護高齢者入居施設	412	44.1
	要介護高齢者居宅サービス	160	17.1
	地域密着型サービス	248	26.6
	障害児・障害者対象のサービス	43	4.6
	その他福祉関係の仕事	102	10.9
	病院	114	12.2
	福祉以外の仕事	207	22.2
	その他	61	6.5
	無回答	9	1
現在勤務している小規模多機能の建物のタイプ			
	単独（新築）	331	35.4
	単独（民家活用）	95	10.2
	他施設と併設	451	48.3
	その他	37	4
	無回答・不正回答	20	2.1
現在勤務している小規模多機能が開設してからの年数			
	5年未満	153	16.4
	5年～10年未満	402	43.0
	10年以上	366	39.2
	わからない	9	1.0
	無回答	4	0.4

(n=934)

4.2.1.2　「地域居住の高齢者の生活の構成要素」として含まれるか否か

62 の構成要素が，小規模多機能を利用する高齢者の生活の要素に含まれるか否かについて，結果を表 3 に示す。小規模多機能を利用する高齢者の構成要素について「思う」(「そう思う」「ややそう思う」を合計した割合)とした回答者の割合の高い上位 10 項目は,「清潔な衣服を着る(95.2%)」「理髪店や美容院で身だしなみを整える(94.8%)」「季節や天候に適した衣服を選ぶ(94.0%)」「健康状態を医療従事者に伝える(92.2%)」「生まれた場所や育った場所に愛着を持つ(91.3%)」「家の内外の清掃や片づけを行う(87.5%)」「上手くいかない時もあるが，近隣の人と近所付き合いをする(85.2%)」「腐っている食材や食品を廃棄する(85.1%)」「心身の能力が変化し大変なことが増えた自分を助ける道具を利用するなど，環境を整える(84.9%)」「周囲の人の健康状態を気に掛ける(82.4%)」であった。

表 3.「地域居住の高齢者の生活の構成要素」として含まれるか否か

	人数							割合						
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	不正回答	無回答	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	不正回答	無回答
清潔な衣服を着る	637	252	39	4	0	0	2	68.2%	27.0%	4.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%
季節や天候に適した衣服を選ぶ	613	265	42	10	1	0	3	65.6%	28.4%	4.5%	1.1%	0.1%	0.0%	0.3%
健康状態を医療従事者に伝える	563	298	48	16	6	1	2	60.3%	31.9%	5.1%	1.7%	0.6%	0.1%	0.2%
腐っている食材や食品を廃棄する	557	238	75	32	29	0	3	59.6%	25.5%	8.0%	3.4%	3.1%	0.0%	0.3%
理髪店や美容院で身だしなみを整える	542	343	38	7	2	0	2	58.0%	36.7%	4.1%	0.7%	0.2%	0.0%	0.2%
生まれた場所や育った場所に愛着を持つ	450	403	53	10	17	0	1	48.2%	43.1%	5.7%	1.1%	1.8%	0.0%	0.1%
家の内外の清掃や片づけを行う	413	404	82	20	8	0	7	44.2%	43.3%	8.8%	2.1%	0.9%	0.0%	0.7%
心身の能力が変化し大変なことが増えた自分を助ける道具を利用するなど、環境を整える	380	413	76	44	18	0	3	40.7%	44.2%	8.1%	4.7%	1.9%	0.0%	0.3%
体力を考慮し、計画的・効率的に時間を使う	367	392	126	38	8	0	3	39.3%	42.0%	13.5%	4.1%	0.9%	0.0%	0.3%
選挙の投票に行く	326	346	116	77	68	0	1	34.9%	37.0%	12.4%	8.2%	7.3%	0.0%	0.1%
観葉植物や農作物の世話をする	325	410	106	69	22	0	2	34.8%	43.9%	11.3%	7.4%	2.4%	0.0%	0.2%
家族の最期に立ち会う	318	318	126	56	113	0	3	34.0%	34.0%	13.5%	6.0%	12.1%	0.0%	0.3%
利用したいもの・参加したいものを見つけるため、情報を得る	314	388	137	78	12	0	5	33.6%	41.5%	14.7%	8.4%	1.3%	0.0%	0.5%
引き受けるには負担が大きいことは断る	312	335	143	52	90	1	1	33.4%	35.9%	15.3%	5.6%	9.6%	0.1%	0.1%
頼れる家族の人数や介護負担の状況に応じて、サービスの利用や施設入居を決める	308	431	109	48	35	1	2	33.0%	46.1%	11.7%	5.1%	3.7%	0.1%	0.2%
地域の自治会やサークルに参加する	308	425	111	62	27	0	1	33.0%	45.5%	11.9%	6.6%	2.9%	0.0%	0.1%
周囲の人の健康状態を気にかける	300	470	111	31	18	0	4	32.1%	50.3%	11.9%	3.3%	1.9%	0.0%	0.4%
嗜好品（コーヒー、お酒、煙草等）を楽しむことで、生活のモチベーションを維持する	299	417	150	52	13	0	3	32.0%	44.6%	16.1%	5.6%	1.4%	0.0%	0.3%
携帯電話・ビデオ通話・メール・手紙等で連絡を取る	298	428	105	66	35	0	2	31.9%	45.8%	11.2%	7.1%	3.7%	0.0%	0.2%
上手くいかない時もあるが、近隣の人と近所付き合いをする	297	499	81	34	22	0	1	31.8%	53.4%	8.7%	3.6%	2.4%	0.0%	0.1%
自分の人生のエピソードや特技を披露する	296	429	155	24	25	0	5	31.7%	45.9%	16.6%	2.6%	2.7%	0.0%	0.5%

表 3.「地域居住の高齢者の生活の構成要素」として含まれるか否か(続き)

好みの場所や道具を選び、好きなことをして過ごす	285	459	148	34	4	0	4	30.5%	49.1%	15.8%	3.6%	0.4%	0.0%	0.4%
冠婚葬祭に参加する	281	389	132	47	84	0	1	30.1%	41.6%	14.1%	5.0%	9.0%	0.0%	0.1%
来客をもてなす	280	425	142	55	29	0	3	30.0%	45.5%	15.2%	5.9%	3.1%	0.0%	0.3%
気に入ったもの・ほしいものに納得して費用を払う	261	388	161	68	50	0	6	27.9%	41.5%	17.2%	7.3%	5.4%	0.0%	0.6%
支援者や近隣の人等を信頼してもよいか見極める	248	425	121	30	101	1	8	26.6%	45.5%	13.0%	3.2%	10.8%	0.1%	0.9%
時間帯や他者の都合など気兼ねせず、自由に時間を使う	240	416	192	70	8	0	8	25.7%	44.5%	20.6%	7.5%	0.9%	0.0%	0.9%
ゲーム・花札・麻雀・競馬などを楽しむ	239	393	136	130	33	0	3	25.6%	42.1%	14.6%	13.9%	3.5%	0.0%	0.3%
心身の能力が変化し大変なことが増えても、取り組み方法を変えて行う	238	451	144	68	26	0	7	25.5%	48.3%	15.4%	7.3%	2.8%	0.0%	0.7%
映画・観劇・コンサート・アイドルの応援等、文化的な要素を楽しむ	232	383	146	135	35	0	3	24.8%	41.0%	15.6%	14.5%	3.7%	0.0%	0.3%
参加した場に適した社交的にふるまう	223	434	183	41	49	0	4	23.9%	46.5%	19.6%	4.4%	5.2%	0.0%	0.4%
町や店で困ったときに助けてくれそうな人を見つける	218	417	162	59	75	0	3	23.3%	44.6%	17.3%	6.3%	8.0%	0.0%	0.3%
目的地までの距離に合わせ、徒歩・タクシー・バス・電車等を組み合わせた移動方法を考える	217	354	186	117	56	0	4	23.2%	37.9%	19.9%	12.5%	6.0%	0.0%	0.4%
曜日ごとの予定を決め、準備をする	215	467	159	58	32	0	3	23.0%	50.0%	17.0%	6.2%	3.4%	0.0%	0.3%
福祉サービスの利用が自分に与える影響をとらえる	214	435	165	42	68	0	10	22.9%	46.6%	17.7%	4.5%	7.3%	0.0%	1.1%
ペットや生きものの世話をする	211	351	176	138	55	1	2	22.6%	37.6%	18.8%	14.8%	5.9%	0.1%	0.2%
信仰に応じて、先祖をまつる	209	383	157	59	124	1	1	22.4%	41.0%	16.8%	6.3%	13.3%	0.1%	0.1%
利用したサービス（医療・福祉含む）の質を評価する	208	441	154	58	70	0	3	22.3%	47.2%	16.5%	6.2%	7.5%	0.0%	0.3%
他者からの提案に意見を言う	204	454	174	35	64	0	3	21.8%	48.6%	18.6%	3.7%	6.9%	0.0%	0.3%
心身の能力が変化したため、今までの行動・習慣を変える	194	368	261	101	7	0	3	20.8%	39.4%	27.9%	10.8%	0.7%	0.0%	0.3%
家電製品や家屋の修理・修繕を依頼する	187	356	206	125	56	1	3	20.0%	38.1%	22.1%	13.4%	6.0%	0.1%	0.3%
社会問題や健康に関する情報に基づいて、自分の行動に反映する	183	430	209	45	63	0	4	19.6%	46.0%	22.4%	4.8%	6.7%	0.0%	0.4%
旅行する	183	328	179	187	52	0	5	19.6%	35.1%	19.2%	20.0%	5.6%	0.0%	0.5%
離れて住む家族に会いに行く	182	337	221	108	82	1	3	19.5%	36.1%	23.7%	11.6%	8.8%	0.1%	0.3%
その日の気分で食べたいものを選ぶ	175	329	226	183	17	0	4	18.7%	35.2%	24.2%	19.6%	1.8%	0.0%	0.4%
働いて報酬を得る	151	238	206	213	125	0	1	16.2%	25.5%	22.1%	22.8%	13.4%	0.0%	0.1%
道具のさまざまな使用方法を見つける	146	392	221	95	70	0	10	15.6%	42.0%	23.7%	10.2%	7.5%	0.0%	1.1%
通信機器や家電を自ら選択し、購入する	144	293	259	169	66	0	3	15.4%	31.4%	27.7%	18.1%	7.1%	0.0%	0.3%
景品が当たる抽選に応募する	135	262	222	231	82	0	2	14.5%	28.1%	23.8%	24.7%	8.8%	0.0%	0.2%
寄付も含めたボランティアをする	115	251	277	152	135	1	3	12.3%	26.9%	29.7%	16.3%	14.5%	0.1%	0.3%
家族の医療・年金・介護・各種手帳などの手続きを代行する	107	240	240	199	143	1	4	11.5%	25.7%	25.7%	21.3%	15.3%	0.1%	0.4%
少しでも安く買える購入方法・タイミングを選ぶ	104	311	264	149	102	1	3	11.1%	33.3%	28.3%	16.0%	10.9%	0.1%	0.3%
今すぐ使わないものでもストックして、安心感を得る	102	326	329	123	50	0	4	10.9%	34.9%	35.2%	13.2%	5.4%	0.0%	0.4%
お墓の購入など自分の死に備える	93	259	225	142	214	0	1	10.0%	27.7%	24.1%	15.2%	22.9%	0.0%	0.1%
通信販売や出前を利用する	87	274	318	195	59	0	1	9.3%	29.3%	34.0%	20.9%	6.3%	0.0%	0.1%
不用品を欲しい人に譲る	84	253	321	183	88	0	5	9.0%	27.1%	34.4%	19.6%	9.4%	0.0%	0.5%
子孫への相続を含め、資産・土地建物を管理・運用する	75	208	242	183	222	0	4	8.0%	22.3%	25.9%	19.6%	23.8%	0.0%	0.4%
日本語以外の言語を使う	72	124	222	375	136	0	5	7.7%	13.3%	23.8%	40.1%	14.6%	0.0%	0.5%
許してくれそうな言い訳を言うなど、相手の譲歩を引き出す	69	262	338	119	139	0	7	7.4%	28.1%	36.2%	12.7%	14.9%	0.0%	0.7%
恋愛や結婚をする	64	182	262	257	165	1	3	6.9%	19.5%	28.1%	27.5%	17.7%	0.1%	0.3%
自分の整理整頓する力では片付かない環境に不満を感じながらも生活する	56	197	328	309	43	0	1	6.0%	21.1%	35.1%	33.1%	4.6%	0.0%	0.1%
自分の資産を他者に使い込まれる	30	115	169	369	239	1	11	3.2%	12.3%	18.1%	39.5%	25.6%	0.1%	1.2%

4.2.2　生活の構成要素の構造

構成要素に含まれるか否かに関する回答を因子分析した結果，8 因子が抽出された。因子分析の結果を表 4 に示す(因子名は『』で示す)。第 1 因子を『自分にとっての楽しみ(やりたいこと，文化的な要素，ゲーム性のあるものなど)を，その日の気分で選び楽しむ』(含まれる項目：7 項目)，第 2 因子『自分の生活を支えてくれる人・サービス・情報・環境を利用・評価する』(8 項目)，第 3 因子『体力と相談しながら，身だしなみを整え，清潔で快適な日常生活を送る』(5 項目)，第 4 因子『家族や社会に対して，自分の役割を果たして貢献する』(6 項目)，第 5 因子『来客をもてなしたり，動植物の世話をする』(3 項目)，第 6 因子『自分だけの楽しみやこだわりたいことに自由に時間を使う』(3 項目)，第 7 因子『万が一に備えながらも，人や社会の影響によって，予測通りにいかないことに折り合いをつける』(4 項目)，第 8 因子『家族や友人の人生の節目に立ち会う』(2 項目)と命名した。

各因子の信頼性は，.919，.822，.764，.904，.817，.849 であり，内的一貫性は保たれていると考えられた。

表 4.「地域居住の高齢者の生活の構成要素」の因子構造

	因子							
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
景品が当たる抽選に応募する	**0.92**	-0.08	0.00	0.04	0.04	-0.15	0.08	-0.04
旅行する	**0.82**	-0.04	-0.06	0.08	-0.09	0.08	-0.02	0.00
日本語以外の言語を使う	**0.77**	0.08	-0.08	0.05	-0.02	-0.08	-0.01	0.01
映画・観劇・コンサート・アイドルの応援等、文化的な要素を楽しむ	**0.75**	0.02	-0.02	-0.16	0.05	0.04	-0.03	0.11
ゲーム・花札・麻雀・競馬などを楽しむ	**0.57**	-0.03	0.08	-0.25	0.06	0.18	0.12	0.03
恋愛や結婚をする	**0.54**	0.03	-0.04	0.25	-0.16	0.09	0.00	0.02
その日の気分で食べたいものを選ぶ	**0.42**	-0.10	-0.14	0.16	0.13	0.40	0.01	-0.09
利用したいもの・参加したいものを見つけるため、情報を得る	0.36	0.21	0.11	0.11	0.01	0.21	-0.26	-0.10
利用したサービス（医療・福祉含む）の質を評価する	-0.11	**0.87**	-0.15	0.09	-0.05	0.10	0.05	-0.03
福祉サービスの利用が自分に与える影響をとらえる	-0.09	**0.85**	-0.07	0.08	-0.12	0.11	0.06	-0.01
町や店で困ったときに助けてくれそうな人を見つける	-0.04	**0.71**	-0.07	-0.01	0.12	0.05	0.01	0.04
頼れる家族の人数や介護負担の状況に応じて、サービスの利用や施設入居を決める	0.00	**0.68**	0.15	-0.14	0.01	-0.06	0.05	0.04
社会問題や健康に関する情報に基づいて、自分の行動に反映する	0.06	**0.64**	0.15	0.08	0.04	-0.15	0.08	-0.07
心身の能力が変化し大変なことが増えた自分を助ける道具を利用するなど、環境を整える	0.10	**0.55**	0.21	0.00	0.01	-0.02	-0.14	-0.08
心身の能力が変化し大変なことが増えても、取り組み方法を変えて行う	0.10	**0.49**	0.19	0.05	-0.02	-0.07	-0.07	-0.01
自分の人生のエピソードや特技を披露する	0.20	**0.47**	-0.02	-0.29	0.24	-0.06	0.11	0.07
季節や天候に適した衣服を選ぶ	-0.01	-0.04	**0.86**	-0.03	0.05	0.04	-0.10	-0.04
清潔な衣服を着る	-0.14	0.06	**0.78**	-0.08	-0.02	0.04	-0.06	0.01
家の内外の清掃や片づけを行う	-0.13	-0.11	**0.78**	0.12	0.13	-0.01	0.08	-0.02
理髪店や美容院で身だしなみを整える	0.17	-0.09	**0.68**	0.00	-0.01	-0.03	0.08	0.02
体力を考慮し、計画的・効率的に時間を使う	0.01	0.16	**0.53**	-0.06	-0.06	0.09	0.02	0.10
腐っている食材や食品を廃棄する	-0.04	0.18	0.39	0.22	-0.11	0.11	-0.12	0.01
働いて報酬を得る	0.08	0.03	-0.02	**0.81**	-0.01	-0.12	-0.17	-0.03
子孫への相続を含め、資産・土地建物を管理・運用する	0.06	-0.18	0.20	**0.58**	-0.03	0.08	0.27	-0.03
家族の医療・年金・介護・各種手帳などの手続きを代行する	-0.22	0.01	-0.07	**0.56**	0.08	0.11	0.14	0.10
離れて住む家族に会いに行く	0.15	0.03	-0.02	**0.54**	0.13	-0.13	-0.12	0.19
少しでも安く買える購入方法・タイミングを選ぶ	0.20	0.08	0.12	**0.50**	-0.11	-0.08	0.21	0.01
寄付も含めたボランティアをする	0.00	0.22	-0.08	**0.40**	0.30	0.03	0.05	-0.02
観葉植物や農作物の世話をする	-0.03	0.00	0.08	-0.08	**0.95**	0.01	-0.03	-0.01
ペットや生きものの世話をする	0.04	-0.05	-0.01	0.21	**0.75**	0.00	-0.02	-0.06
来客をもてなす	0.06	0.07	-0.03	0.12	**0.60**	-0.02	0.00	0.05
時間帯や他者の都合など気兼ねせず、自由に時間を使う	-0.02	0.06	0.06	-0.10	-0.09	**0.67**	0.14	0.06
嗜好品（コーヒー、お酒、煙草等）を楽しむことで、生活のモチベーションを維持する	0.17	-0.07	0.04	0.01	0.08	**0.55**	0.03	0.02
好みの場所や道具を選び、好きなことをして過ごす	0.10	0.16	0.06	-0.03	0.04	**0.55**	-0.06	0.00
自分の整理整頓する力では片付かない環境に不満を感じながらも生活する	0.02	0.06	-0.09	0.04	-0.07	0.04	**0.62**	-0.07
自分の資産を他者に使い込まれる	0.01	-0.08	-0.05	-0.09	0.04	0.14	**0.54**	-0.02
許してくれそうな言い訳を言うなど、相手の譲歩を引き出す	-0.02	0.18	-0.02	0.11	-0.03	0.01	**0.52**	0.06
今すぐ使わないものでもストックして、安心感を得る	0.12	0.11	0.17	0.03	0.06	-0.07	**0.44**	-0.04
冠婚葬祭に参加する	0.04	-0.05	0.03	0.04	-0.03	0.05	-0.04	**0.98**
家族の最期に立ち会う	0.03	0.07	0.00	0.20	0.04	0.02	-0.03	**0.54**
因子相関	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
I		0.63	0.52	0.69	0.67	0.59	0.11	0.49
II			0.63	0.62	0.59	0.44	0.07	0.49
III				0.47	0.44	0.31	-0.04	0.33
IV					0.61	0.47	0.24	0.53
V						0.43	0.22	0.55
VI							0.08	0.39
VII								0.22
VIII								
因子寄与	6.95	7.80	2.22	1.16	1.25	1.16	0.97	0.62
累積寄与率	17.38	36.87	42.43	45.32	48.44	51.34	53.75	55.31

因子抽出法: 最尤法

回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

５．考察

地域居住の高齢者の「生活の構成要素」とその構造を明らかにするために，面接調査および量的調査を実施した。以下，調査ごとに考察を述べる。

5.1　[1]構成要素を明らかにするための面接調査

地域居住の高齢者の生活の「構成要素」として 19 カテゴリーが抽出されたが，半数以上が家族や地域の人々等他者との関わり，自宅の家屋や通信機器，資産の管理，自治体や介護保険等の各種サービスの利用を示すものであり，生きる上で欠かせない環境や道具に関連する要素であった。【好きな時に好きな場所で，好きな人と，好きな事をして，生活のモチベーションを高め，自由に過ごす】【利用・参加したいものに関する情報を得ながら，文化的な要素や旅行を楽しむ】のカテゴリーが示すように，高齢者が毎日の生活の計画を練る等の自己決定を基盤に，【安全な食べ物を食べ，清潔な衣服を着て，受診し，健康を維持する】【他者と関われるよう，家屋・室内・庭を清掃し，季節に合った衣服を着て身だしなみを整える】等からは，高齢者自身が生活する場所の安全や清潔を維持し，自身の健康管理と機能低下への備えや機能低下に応じた生活の方法を考案し，生活の安全性や健康面が継続的に適宜支援されている状況が推察できる。本調査の前段階の調査にて明らかになった施設入居の高齢者の生活の構成要素が，基本的には本人の自己決定に基づくものであるとはいえ，福祉施設内の居室やリビング内で生じる可能性がある要素に終始する傾向であったことと比較すると，地域居住の高齢者の日常は，人と環境との関わりを中心により多岐に渡ることが明らかになった。この点は，WHO が 2001 年に総会にて採択した人間の心身の生活機能のとらえ方やその分類法を示した国際生活機能分類が，人の生活を「人と環境の相互作用」モデルでとらえる考え方にも通じるものであり，介護福祉士が支援を行う際に，個人の心身の状態のみに注目するのではなく，本人と周囲の人や環境との関係性をアセスメントする重要性を示している。同時に，地域居住の高齢者は構成要素について部分的に支援を受けながらも自宅での生活を継続していることから，心身に認知症等の疾患はあるものの，心身機能は在宅生活を維持できるほど高く，長年の人生経験から，支援者自身の生活よりも個別性の高い豊かな生活を送っている可能性が高い。支援者の生活体験や文化・教養，勤務経験や高齢者に対する先入観等によって，支援の対象と捉える高齢者の生活の幅を支援者自身が自覚しないうちに狭める可能性も危惧される。小規模多機能等の地域居住を支える事業所にて働き始める時期に，事業所の理念や地域支援の実際，支援者が持つべき介護観を振り返る機会を設ける等，自己覚知を含む教育的な関わりが必要である。

5.2 [2]構成要素の妥当性を検討するための量的調査

5.2.1 「地域居住の高齢者の生活の構成要素」としての妥当性

62 項目の構成要素の単純集計では,清潔な衣服を着る等の身だしなみや健康維持,近隣や客人等人付き合いに関する項目，高齢者が自ら情報を取得し，活動する環境の状態を把握し，自身の体力を考慮しながら計画的に自分の希望にそって時間を使うことに関連する項目が上位にあがった。次いで,嗜好品や娯楽，冠婚葬祭，自治会やサークルへの参加等，生活のモチベーションを高め，他者との相互作用を示す項目が続き,「そう思う」「ややそう思う」と回答した対象者の割合が 60%を超えた項目は 62 項目中 41 項目であった。これらは，小規模多機能に勤める介護福祉士が,高齢者を地域社会の一員として生活する存在としてとらえ，個人の意思の尊重を基盤に，社会的なつながりを途絶させないよう，生活全体を見渡し支援を実践する姿を推察させる結果であり，構成要素は多岐にわたると認識していると考えられる。

一方で,「心身の能力が変化し大変なことが増えた自分を助ける道具を利用するなど，環境を整える」「心身の能力が変化し大変なことが増えても，取り組み方法を変えて行う」「心身の能力が変化したため，今までの行動・習慣を変える」は,「思う」の割合はそれぞれ 60%を超えていたが,「自分の整理整頓する力では片付かない環境に不満を感じながらも生活する」は 27.1%であった。これは単純に，小規模多機能の利用開始時から支援を通して居室内の清掃や片づけ、身体機能に適した道具や福祉用具の導入が常に行われているため，そういった状況は発生しないことを意味する可能性もある。しかし,高齢者は自宅で暮らしているとしても,老化の影響によって若い時ほど自在に動けない身体で，自身の生活や生活環境に完全に満足している人はごく少数と推測される。介護福祉士をはじめとした支援者も，高齢者が現在の生活に完全に満足しているととらえている可能性は高くはないと推測できるが，不満足な要素は常にあるものと考え，高齢者が満足と不満足に折り合いをつける過程や感情等をより慎重に把握し，支援するべきではないだろうか。

また,「そう思う」と「ややそう思う」の割合が最も低かった「自分の資産を他者に使い込まれる」について，高齢者の生活に詐欺等の犯罪は生じないほうが良いものであり,対象者が構成要素として認めにくい項目であったと考えられる。しかし,消費者庁の全国消費生活情報ネットワークシステムによると，認知症等がある判断不十分者の契約に関する相談は約 8 割が当事者以外からの相談で発覚すること(消費者庁新未来創造戦略本部 2023)や,本調査のグループインタビューに参加した対象者全員が，利用者が訪問販売や商品について十分に理解しないうちに購入・契約した形跡を利用者宅にて発見し，契約解除等の支援を実施していた。年金を家族に使い込まれる被害報告も多々あるように，高齢者が資産を使い込まれる事件は業者に

よってのみ生じるものではない。日常的に自宅を訪問する機会がある小規模多機能の支援者は，高齢者が詐欺等の被害に遭う可能性を常に念頭に置く必要がある。

5.2.2　「地域居住の高齢者の生活の構成要素」の因子構造

構成要素を因子分析した結果，8 因子構造であることが明らかになった。第 1 因子『自分にとっての楽しみ(やりたいこと，文化的な要素，ゲーム性のあるものなど)を，その日の気分で選び楽しむ』や第 3 因子『体力と相談しながら，身だしなみを整え，清潔で快適な日常生活を送る』および第 6 因子『自分だけの楽しみやこだわりたいことに自由に時間を使う』は，身だしなみを整え，屋内外の清掃等を通して生活環境を管理し，その日の気分で好きな場所で好きなことを行い，生活を楽しむ様子をうかがわせる要素で構成されていた。一般的に介護福祉士に求められる専門的知識や技術は，食事や排泄等，高齢者が困難を感じる可能性が高い行為に関するものが中心であり，実際に本調査の対象者も高齢者が単独では実施できない食事の準備等の行為を支援しているはずである。しかし，支援を受けることに関連する構成要素としては，第 1 因子の「利用したサービス（医療・福祉含む）の質を評価する」「頼れる家族の人数や介護負担の状況に応じて，サービスの利用や施設入居を決める」などが散見されるのみであった。これは，小規模多機能に勤務する介護福祉士が，介護上の課題に焦点を当て過ぎず，高齢者の意思を最大限に尊重し，本人の能力や好み等を把握しながら，食事等基本的な生活行為をはじめ，多様な生活行為を可能な限り本人の力で決定し，実施できるよう見守り，環境を整え，必要に応じ支援するという自立支援の姿勢が徹底されているためではないかと考える。しかし，小規模多機能にて勤務する支援者の背景は，特別養護老人ホーム等の入居型施設での勤務経験がある者，福祉以外の分野からの中途採用や介護福祉士を取得したばかりの新卒等多様である上に，高等教育や自己学習および経験を通し培った固有の介護観を有する。さらに，自己決定や自立支援が重要であると理解していても，実践の中で体現できるレベルに養成するには多くの教育と時間を要する。地域居住の高齢者の支援に携わる際には，「地域居住の高齢者の支援の在り方」や「支援者像」について，全職員が自己や実践を振り返り，概念を共有する機会や教育が欠かせない。理念の体現に至る教育内容と方法についても，介護福祉士の技術として把握・検討する必要があるだろう。

第 2 因子『自分の生活を支えてくれる人・サービス・情報・環境を利用・評価する』，第 4 因子『家族や社会に対して，自分の役割を果たして貢献する』，第 5 因子『来客をもてなしたり，動植物の世話をする』，第 7 因子『万が一に備えながらも，人や社会の影響によって，予測通りにいかないことに折り合いをつける』，第 8 因子『家族や友人の人生の節目に立ち会う』は，高齢者の生活が自宅内に終始することなく，社会と広く関わりを持ち，役割を果たし貢献する，賢い消費者としてふるまう，家族等の人生の節目に立ち会う等を意味するものであり，介護福祉士が高齢者を生活の主体としてとらえ，これまでの生活様式や社会的な役割の継続を意識して

いる状態を示唆する。これらの要素は，高齢者の心身機能が認知症やその他の疾患等で変化するにつれ，徐々に実施が難しくなる場合や，小規模多機能の利用開始前には実施を一度あきらめたが，支援者の支援を経て再開した場合も含まれると推測される。2006 年の小規模多機能の誕生以降，支援を単なるデイサービスやショートステイ等の組み合わせに終始させないことは最大の課題であり，小規模多機能の実務者らはケアマネジメントの在り方や書式を「ライフサポートワーク」としてまとめ，2008 年 20 年より普及活動を行ってきた(特定非営利活動法人全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 2019)。ライフサポートワークによる支援の 5 本柱は「最後まで自宅と地域社会のなかで暮らし続ける」「『これまで』と『これから』の落差を和らげる」「状態の変化にもろい利用者，家族・介護者だが，常に変化し続けることに柔軟に対応」「人の暮らし全体を把握する」「多様な価値観による自己決定，自立支援，生活の継続性を尊重」である。現時点でライフサポートワークやその理念を全事業所が十分に理解・活用できているとは限らないが，各事業所の教育等を通して，介護という課題のみに焦点を当てるのではなく，生活の継続性や暮らし全体を理解して支援する姿勢が体現され始めていると言えるのではないだろうか。最期まで地域にて生活者として生きることを希望する高齢者を支援できる介護福祉士を養成するため，学習目標となる支援に必要な知識や技術を具体的に提示し，生活全体を見渡し，医療連携も含めた高度な知識と技術の駆使に到達するまでの支援者が共有可能な学習プロセスの提示が有効であろう。

5.3　本調査の限界と今後の課題

地域居住の高齢者の生活の構成要素について，実際に地域居住の高齢者の生活実態を観察したのではなく，高齢者の支援に関わる介護福祉士を対象としたグループインタビューを把握する方法として採用したため，対象者が把握できていない，面接時に述べることができなかった構成要素が存在する可能性がある。また，グループインタビューの参加者が勤める小規模多機能は首都圏に所在するため，地方都市等の小規模多機能にはその土地特有の構成要素が存在する可能性もある。しかし，全国の介護福祉士を対象とした量的調査にて，生活の構成要素とみなすかの問いに，「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計が 40%を下回ったものは 62 項目中 9 項目であり，構成要素を一定の割合で明らかにできたものと考える。

今後は，8 因子から構成される構成要素に対して，各要素を支える際に介護福祉士が用いる技術を明らかにする予定であるが，地域の特性を踏まえ，より広い範囲にて構成要素を丁寧に抽出する必要がある。また，本研究では介護福祉士が高齢者に直接および間接的に支援を提供する生活場面に関する要素を抽出したが，介護福祉士は事業所内外にて地域の近隣住民との交流や職員教育等，質の高い支援を提供するための環境づくりや準備にも多くの時間と労力を費やしている。そのため，介護福祉士の勤務中の場面全体を見渡し，駆使する技術の全容を把握していきたい。

６．まとめ

介護福祉士の専門性を定義する研究の一環として，小規模多機能に勤務する介護福祉士が認識する地域居住の高齢者の生活の構成要素とその構造を明らかにするため，小規模多機能に勤務する介護福祉士を対象に，[1]構成要素を明らかにするための面接調査，[2]構成要素の妥当性と因子構造を検討するための質問紙調査を実施した。

面接調査の結果，抽出された 210 の生活の構成要素は 19 カテゴリーにまとめられ，要素は生きる上で欠かせない環境や道具の扱いに関連するものが多く挙げられた。先行して実施した入居型施設における同内容の調査結果と比較して，構成要素は人と環境との関わりを中心により多岐に渡り，支援を担う介護福祉士等が認識する「高齢者の生活」の幅によって生活を縮小させることがないよう配慮が求められる。質問紙調査の結果，多くの項目が生活の構成要素として認識され，介護福祉士が個人の意思の尊重を基盤に，社会とのつながり等を含め，生活全体を見渡しながら支援していることが推察できた。しかし，生活の中で生じる不満足な点におりあいをつけることや詐欺にあう経験等を構成要素に含めるかは検討が必要である。

因子分析の結果，生活の構成要素は 8 因子で構成されていた。介護福祉士が主体的な生活者として高齢者及びその生活をとらえ，自立支援や見守りを徹底する姿勢が推察された。高齢者の心身の状態は徐々に変化するが，最期まで地域での生活を望む高齢者を支えるために，小規模多機能に勤務する介護福祉士が，介護のみに焦点を当てず，生活全体を見渡し，医療連携も含めた高度な知識と技術を身につけること，同時に支援の理念を体現できる人材を養成する教育目標と方法の明確化が求められる。

※本究は，JSPS 科研費 JP8K02166，代表：渡邊祐紀「小規模多機能型居宅介護に勤務する介護福祉士が支援する高齢者の「生活の構成要素」に関する研究」の一部である。

引用文献

高齢者の認知機能障害に応じた消費トラブルと対応策の検討に関する研究(消費者庁新未来創造戦略本部)
(https://www.caa.go.jp/policies/future/topics/meeting_013/assets/caa_future_101_230315_011.pdf) (2023 年 10 月 26 日閲覧)

小規模多機能型居宅介護の支援とケアマネジメント ～「ライフサポートワーク」考え方とその様式～(特定非営利活動法人全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会)(http://www.shoukibo.net/lifesupportwork2019/pdf/down_01_02.pdf)
(2023 年 10 月 26 日閲覧)

渡邊祐紀，天野由以，大島千帆他(2013)「介護状態にある人の「生活構成要素」に関する研究 ―介護福祉士に対するグループインタビューに基づいて―」『介護福祉学』20(2)，117-125.

渡邊祐紀，大島千帆，安瓊伊他(2017)「特別養護老人ホームにおける要介護高齢者の生活を支える介護福祉士の支援技術に関する研究」『介護福祉学』24(1)，9-21.

参考文献

下垣光，大島千帆，渡邊祐紀，天野由以，安瓊伊，鄭春姫，岸野靖子，中島健一(2015)「要介護高齢者の生活の構成要素に関する一考察」『日本社会事業大学研究紀要』61，45-52.

渡邊祐紀，下垣光，大島千帆，中島健一，天野由以，安瓊伊，岸野靖子，Cho， Chu-Yong(2013)「介護福祉士が考える「要介護状態の高齢者の生活」に関する研究(2)―生活の要素と認識された項目の構造―」 第 21 回日本介護福祉学会大会.

（2024 年 2 月 16 日 受理）

付録：特別養護老人ホームに勤める介護福祉士が認識する「特養で生活する高齢者の『生活の構成要素』」（参照文献，渡邊(2013)より）

第1因子	**〔メリハリのある快適な生活〕**
	生活の中で充実した気持ちになるものを持つ
	生活の中で楽しみにしていることを大切にする
	生活の中に好奇心や意欲を持って暮らす
	他者・介護者と関わり話すことを楽しむ機会を持つ
	生活にメリハリをつける
	気候（季節）に合わせて服を着替える
	住んでいる場所周辺の散歩に行く
	運動など身体を動かして楽しむ
	快適な環境で気持ちよく排泄する
	これまでに築いた友人達との交流を持ち続ける
	花や写真を飾って自分の居場所を居心地良く整える
	充実した気持ちになるために、生活のスケジュールを立てる
	自分の心身の状態に応じた治療を希望する
	出来る範囲の家事など、自分のことをほぼ自分で行う
	習慣として続けてきた自分なりの健康法を行う
	生活の中に選択肢がある
	髪やひげの手入れ、お化粧などの身支度をする
	親しい友人やグループとの関係を築く
	自分の心身の状態に応じたケアを希望する
第2因子	**〔新しいことに挑戦する前向きな生活〕**
	今まで出来なかったことを出来るようにする
	今より力を伸ばし、新しいことに挑戦する
	知識を増やすなど教養を高める
	家族や他者の身の回りの世話をする
	次に何かをするためのエネルギーを充電する
	他者の心情などの状態に気づく
	一部分でも、今の状態より質の高いものを求める
第3因子	**〔自分で決定する私的な生活〕**
	手紙・電話・メールなどのやりとりをする
	年金以外の収入を得る方法(資産運用等)を持っている
	行きたい場所を決めて、泊りがけの旅行に行く
	生活の中で性的な満足を得る
	他者に文句を言ったり、口げんかをすることがある
	心がときめく恋愛をする
	好きな時に好きな場所で過ごす
	自分が決めた時間に睡眠を取る
第4因子	**〔文化的・社会的生活〕**
	地域のお祭りなどのイベントに参加する
	お祝いの席に参加する
	習い事や趣味の成果を披露する・教える
	お墓参りや法事、ミサ（礼拝）などに行く
	パチンコ・麻雀・競馬などギャンブルを楽しむ
	習い事や趣味の集まり、学習の場に行く
	店頭、またはカタログなどで品物を購入する
	スポーツを観戦して楽しむ
	新聞・テレビ・雑誌などのマスメディアを利用する
	他者からの働きかけや干渉がある
	選挙に行くなどの政治活動を行う
	公共交通機関を利用して外出する
	家族や他者を気にかける・心配する
	生活の中でやりたいことや譲れないことを持つ
第5因子	**〔他者の影響を受け入れる生活〕**
	ときに遠慮や我慢をしながら、嫌な状態でも暮らす
	介護者の人数の影響を受けつつ暮らす
	住む場所により生活様式が変化することを受け入れる
	他者やサービスのスケジュールに合わせる
	他者・介護者の出す声や音を受け入れつつ暮らす
	介護者によって技術の上手下手がある事を受け入れつつ暮らす
	他者と共に暮らすことで生じる出来事を受け入れる
第6因子	**〔道具・機器により幅の広げられた生活〕**
	自分の状態にあったメガネ・補聴器を使う
	自分の状態にあった福祉用具を使う
	テレビやラジオで、好きな番組を視聴する